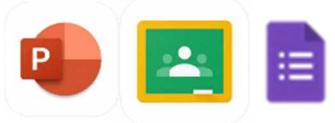


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森若葉養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input checked="" type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	生物基礎（全般）、科学と人間生活（全般）		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生物基礎：身近な生物や生物現象の基本的な概念や原理・法則について認識を深めさせ、科学的な見方や考え方を養う。 ・科学と人間生活：身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術と人間生活とのかかわりについて認識を深めさせ、科学的な見方や考え方を養う。 		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	1・2 年 6 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・中学までの理科の内容について、未習であったり未定着であったりする。 ・高等部の学習内容については、定着が難しいことが多い。 ・苦手意識や経験不足により、理科を学習するための基礎的な概念が不足している。 ・ノートテイクに時間がかかり、教科書から必要な部分を見つけることが難しい。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	Microsoft Powerpoint Google Classroom Google Forms		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・理科を学習するための基礎的な概念形成のため、直感的な資料を提示する。 ・生徒自身の学習の負担となる活動（ノートテイク、課題への取り組み）を低減し、少ない時数でも学習できるようにする。 ・苦手意識がある理科に対し、興味をもって参加できるようにする。 		
活用の状況と支援	Microsoft Powerpoint : 実物や模型と並行して、写真や動画、イラストやアニメーション機能を使ったスライドを使用し、眼に見えない現象を視覚的に捉えられるようにした。スライドの重要部分をプリントして配布することで、ノートテイクの時間を短縮した。 Google Classroom : 課題の配布の他、資料スライドや参考になるウェブサイトの URL を生徒に送付した。生徒が見つけた授業と関連する動画等の URL を生徒自身に送信してもらい、クラスでの共有を図った。 Google Forms : 生徒が回答送信後、自分ですぐに正答を確認できるように設定した課題を作成し、欠席しても後日自分で学習できるようにした。課題には教科書の関連ページを添付し、教科書を見ながら解答することが難しい生徒に配慮した。 誤答には、回答のフィードバック欄にて個別にアドバイスや参考になる URL を添付して返却し、生徒が自分で学ぶことができるようにした。			